

渋谷区の募集坪単価は 前年比87.2円上昇

リーシング・マネジメント ・コンサルティング

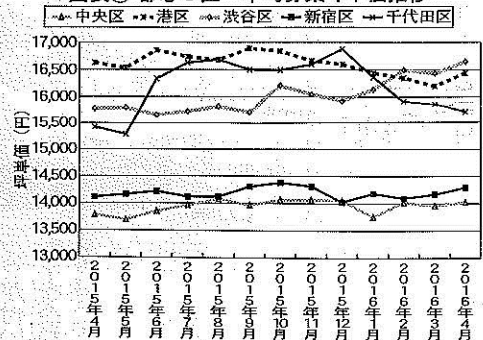
賃貸マンションに特化したマーケティングサポートを手掛けるリーシング・マネジメント・コンサルティング（LMC）は5月31日、東京都港区は5月31日、2016年4月末時点での都心主要5区（中央区、港区、渋谷区、新宿区、千代田区）賃貸マンションの坪単価推移・礼金推移を発表した。

前年同月比は、渋谷区がプラス87.2円を上げ、中央区、新宿区で上昇、港区では下落となった。

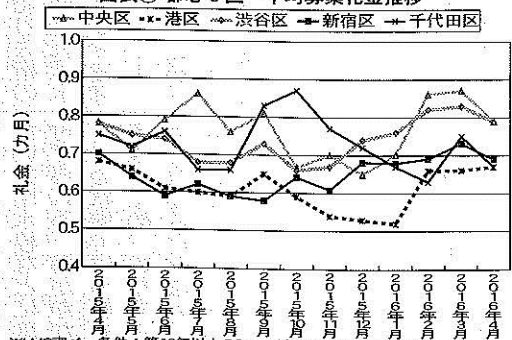
また募集礼金は、港区にてわずかに上昇、その他の4区では下落という結果になった。

マンション募集坪単価（2006年4月以降竣工RC・SRC造マンションタイプ）は、港区、渋谷区、新宿区、中央区

図表① 都心5区 平均募集坪単価推移



図表② 都心5区 平均募集礼金推移



※LMC調べ 条件：築10年以内RC・SRC造マンションタイプ
値はエリア内募集物件礼金月数の算術平均値

で上昇した一方、千代田区で下落した。各区平均募集坪単価の前月比は、渋谷区でプラス

21.8円となり、5区中で最高値を維持した。また港区では24.8円、新宿区で12.3円、中央

区で56円の上昇、千代田区ではマイナス16.6円と4カ月連続の下落となった。